

**Contents**

- 【全体動向】 学校給食法改定案可決・韓米 FTA 反対市民大会へ参加・  
中国米の不正流通に抗議する声明書を発表
- 【韓国生協連合会】 第 1 回韓日田んぼの生きもの調査交流・ウリミルパン競演大会
- 【韓国女性民友会生協】 第 1 回韓日田んぼの生きもの調査交流・単協実務者研修会
- 【生協全国連合会】 第 27 回大学生生協学校・韓米 FTA 医療保健分野討論会
- 【ハンサルリム】ハンサルリムの窓からみた農村現実連載・全国食品安全ワークショップ開催

**【全体動向】**

**学校給食法の改定案、通常国会で可決成立**

2001 年から多くの市民団体が学校給食国民運動本部を作って取り組んできた学校給食法改定案が上期の通常国会で可決されました(6月28日)。今回成立した改定案の主な内容は、小・中学校の場合、学校給食の直営運営を原則とする 委託給食から直営へ転換するための支援を自治体が行う 給食食材料納品業者の不正表示については処罰強化 給食費支援の対象を拡大する(片父母家庭、山漁村児童など) 学校給食の栄養・品質・衛生・安全管理基準をより明確に定める 調理士配置を義務化などです。

しかし、市民団体がずっと主張してきた「安全で優秀な国産農産物の使用、順次的無償給食、高校までの直営給食の実施」は反映されませんでした。運動本部は、今回の改定案を一定評価する反面、今回達成できなかった課題に向けて今後も活動を続けることにしました。

**学校給食法改定と条例制定を目指す全国運動本部**

2001 年、アメリカでは学校給食に自国産農産物の利用が義務化されているというマスコミの紹介がきっかけになって、学校給食の直営化と自国産農産物の使用義務化を条例化する運動が農民運動から始まった。2002 年全羅北道の条例試案を皮切りにして、各自治体ごと、学校給食条例運動が広がる。2003 年、最初の事例として全羅南道で親環境農産物を学校給食の食材料として使用し、その食材料購入費の差を自治体が補填する条例が成立、全国へ広がる。その後、地域での条例制定運動より全国的に学校給食法を改定する運動が先決という認識で 2004 年 9 月、学校給食法改定案を立法請願提出。それから 2 年ほど国会審議のある日は、国会傍聴・一人デモ・記者会見・座り込み・公聴会を開き、学校給食法の改正に向けた活動を続けてきた。

活動内容は 学校給食法の改定 自治体条例制定の完了 ウリ農産物、親環境農産物の食材料への使用の拡大・普及 給食文化改善を図る国民的な運動の展開

(参加団体:(社)真の教育のための全国保護者会、農協中央会労働組合、民主労働党、生協全国連合会、全国教職員労働組合、全国農民会総連盟、学校給食ネットワーク、(社)韓国農業経営人中央連合会、韓国生協連合会、(社)ハンサルリム、全国公務員労働組合)

<http://www.geubsik.org/>

## 韓米 FTA 反対市民大会へ参加しました

7月12日、大雨にも関わらず、ソウルの市役所前の広場には韓米FTA反対市民大会が開かれ、市民約3万名が集まりました。生協陣営からも200人以上が参加しました。反対集会に参加した市民たちは、韓米FTAの協商の中身を公開すること、市民公聴会を開き、市民の意思を問うことを要求しました。この日、生協の参加者たちは、「ウリサルは生命保険!」、「美女はウリサルが好き!」など、愛らしいピケットを用意し、市民たちにウリサル(国産米)の大切さをアピールしました。

<http://www.hansalim.or.kr/>

## 中国産の米が国内産として不正流通されている

7月21日、生協陣営と各市民団体、農民団体は、中国米が小売店で国産のお米と不正混入され流通されている事に抗議する声明書を発表しました。現在の糧穀管理法では、米穀小売店での再包装の段階で不正混入を規制する法律はなく、米穀小売店では安い中国米と国産米を混入し外食業者へ販売する事例が発覚されています。しかし、不正混入でも「販売が目的ではなく、親戚に割り振る目的」と言い訳をすれば処罰もできない現状。又、飲食店での米原産地表示制がないことから飲食店での混入米の使用は増える一方です。生協は、「飲食店の食材料の原産地表示を実施すること、米穀小売店での不正混入を防ぐ制度完備、不正流通への処罰強化、輸入米の公売情報を公開することを要求した声明書を発表し、政府に伝達しました。

<http://www.icoop.or.kr/v2/announce/view.php?code=announce&homepage=001&page=1&number=591&keyfield=&key=&no=108&fid=128>

## 【韓国生協連合会 <http://www.icoop.or.kr>】

### 「第1回韓日田んぼの生きもの調査交流」に参加しました。

7月16日~17日、韓国生協連合会と生協連帯、親環境有機食品流通認証協会(K-COD)は、韓国女性民友会生協、洪城プルム生協と共に「第1回韓日田んぼの生きもの調査交流」を開催しました。日本からは、「田んぼの生きもの調査プロジェクト(代表:原耕造、JA全農SR推進事務局長)」から27名が参加し、全体的に90名と一緒に調査活動を行いました。16日はソウルを襲った大雨で漢江の全ての橋が通行止めとなり、地元洪城にも大雨が降る状況でしたが、生きもの調査を行う17日の午前中は、雨が止んで全ての調査を無事に終えることができました。初めての取り組みにも関わらず、調査活動はスムーズに進行され、有意義な調査結果を得ることもできたという評価です。韓国で地域循環型農業、有機農業のメッカとも呼ばれている洪城郡洪東有機稲作団地で開かれた今回の調査活動については、マスコミの関心も多く、EBS、KBS、KBS大田「忠清パトロール」が取材し、次のスケジュールで放送されます。

\* KBS大田「忠清パトロール」:7月20日放送済み、午後8時から15分ほど。

\* EBS「一つだけの地球」:8月7日、夜11時~11時50分放送、ラムサール条約に登録された蕪栗沼とその周辺の水田まで含めて放送されます。

\* KBS「環境スペシャル」:10月、田んぼの持つ環境創造の機能をテーマにした企画として放送予定

<http://www.icoop.or.kr/v2/announce/view.php?code=announce&homepage=003&page=1&number=>

[er=588&keyfield=&key=&no=148&fid=152&thread=A](#)

### 「第1回ウリミルパン競演大会」を開きました。

(社)韓国生協連帯は、7月14日、ウリミル(国内産小麦)パンの製パン技術発展と多様なウリミルパンの開発を目指して、第1回ウリミルパン競演大会を開きました。この大会では、生協のパン生産者6チームと組合員応募者2チーム、計8チームが製パン技術を競いました。競演品目は、義務品目の食パンと自由品目は1点。参加チームは4時間半という時間内に食品添加物などを使わずに、生協連帯が提供した材料のみでパンを作りました。この競演大会で優勝した参加チームでは、(社)韓国生協連帯と一山生協(韓国生協連帯の地域生協)が展開するベーカリー事業に参加することができます。

<http://www.icoop.or.kr/v2/announce/view.php?code=announce&homepage=003&page=1&number=586&keyfield=&key=&no=147&fid=151&thread=A>

【韓国女性民友会生協 <http://www.minwoocoop.or.kr>】

### 第1回韓日田んぼの生きもの調査交流に参加しました

韓国女性民友会生協は、洪城プルム生協と共に、「第1回韓日田んぼの生きもの調査交流」に参加しました。参加者は、生協の環境委員など組合員家族14名。今回の調査では、家族チームとして田んぼとその周辺の生きもの全体を調査する活動をしました。当日は、連日の大雨で普段は生きものがあまり見つからない条件なのにたくさんの生きものを発見、採集することができました。特に、子どもたちは図鑑でみた生きものたちが田んぼにたくさん住んでいることに驚きを感じながら、こんなに生きものが多い田んぼからお米を頂けることが嬉しいという感想も述べました。女性民友会生協は、洪城プルム生協の有機農業を応援し、17年間契約栽培及びアイガモ入植資金のカンパなどを行っています。

。 [http://www.minwoocoop.or.kr/bbs/board.php?bo\\_table=event\\_act&wr\\_id=158](http://www.minwoocoop.or.kr/bbs/board.php?bo_table=event_act&wr_id=158)

### 単協の実務者夏季研修会を開きました

7月22日～23日、女性民友会生協 3つの単位生協の実務者と支部実務者を対象にした夏季研修会があり、35名が参加しました。女性民友会生協は、単一の生協として本部と地域支部という組織体系だったのですが、2001年の中長期発展計画の策定以来、各支部を単協化し、本部は連合会の機能を持つ方向で組織事業を展開してきました。これは、今までソウル及び首都圏中心の運動からより各地域に根を下ろす地域型の生協運動を実践するためです。今回の研修会では、生協運動の理解、葛藤解決とコミュニケーショントレーニング、商品管理と売場管理、マーケティング技法などをテーマにした講義、討論が行われました。

【生協全国連合会 <http://www.co-op.or.kr/>】

### 「第27回大学生生協学校」を開きました

生協全国連合会 大学生協特別委員会では7月20日～23日、「第27回大学生生協学校」を開きました。今回のテーマは、3つのミッション(協同運動の価値、学生委員会のありか

た、連帯の価値) 各テーマ別の講演と分科会でした。参加者たちは、大学生の生協活動の連帯について意見を深く交わす場として実のある研修会だったという感想が述べられました。

<http://www.co-op.or.kr/data/coopnews2.htm?wh=coop&sno=93>

### **医療生協連帯、「韓米 FTA が保健医療分野に与える影響」討論会を開催**

生協全国連合会医療生協特別委員会では、「韓米 FTA が保健医療分野に与える影響」をテーマにして、講演と討論会を開きました。生協陣営は、韓米 FTA 消費者対策委員会を発足させて、韓米 FTA 締結が消費者生活に与える様々な分野の影響について研究、討論を広げています。韓国の FTA 協商団は、韓米 FTA 協商は何より消費者のためだと明確に言っていますが、果たして韓米 FTA 締結後保健医療分野は消費者にとってよくなるのか？ 実際に医療の現場で働く医者、看護師たちが討論に臨みました。

<http://www.co-op.or.kr/data/coopnews2.htm?wh=coop&sno=92>

### **【ハンサルリム <http://www.hansalim.or.kr>】**

#### **「ハンサルリムの窓からみたわれら農村の現実」が連載される**

ハンサルリムのニュースレターは、最近「ハンサルリムの窓からみたわれら農村の現実」を連載しています。7月号は3回目、そのテーマは「農村の国際結婚の現実」です。統計庁のデータによると、2005年結婚した韓国の夫婦のうち13.6%が国際結婚。そのうち、夫が農林業の場合は35.9%と言います。農村男性の10名のうち、3名は外国人女性と結婚するという現状です。韓国農村経済研究院では2016年には農村で国際結婚を切っ掛けに移住して来る外国人女性とその子女は72万7千名、現在より4.4倍以上になるという分析もしています。国際結婚の対象としては、フィリピン女性が一番多く、次にベトナム、カンボディア、中国、タイ女性も増えています。保守的な農村社会で外国人女性が適応するには極めて苦勞も多く、既存の秩序との葛藤も多く、虐待もしばしば起こっています。統計上では、ハンサルリムの生産者の中には国際結婚のケースが少ないのが現状だが、その現実に安堵して線を引くのではなく、移住してきた外国人女性たちとその家庭がわれらの農村の未来を担っていく後継者世帯でもあることを認め、ハンサルリムの生産者も多文化の地域社会を視野に入れて地域づくりをすべきだという内容が載っています。

<http://www.hansalim.or.kr/zin/>

### **全国食品安全活動ワークショップを開催しました**

6月30日、ハンサルリムは2006年の食品安全活動全国ワークショップを開催しました。全国から食品安全活動委員及び組合員リーダー70名が参加したこのワークショップは、去年から2回目です。参加者たちは、講演と活動事例を聞いてから直接食品添加物を見分ける多様な実験とテストを行い、地域での活動に役立つツールとして利用法を学びました。

<http://www.hansalim.or.kr/>

#### **【編集後記】**

記録的な大雨で韓国でも、日本でも多くの犠牲者と被害が出ています。早く夏らしい天気になって作物も、人間の暮らしもいつも通りに戻ったらと、願います。みなさまも元気な夏をお過ごし下さい。

(文責及びお問い合わせ：韓国生協連合会 国際チーム、金亨美、[chleekim@yahoo.co.kr](mailto:chleekim@yahoo.co.kr))